

市政の課題にチャレンジ

中学校給食は多面的な対応を

先日の横浜市長選で争

点の1つとなった「中学校給食」。現行の家庭弁当「ハマ弁」の継続と、新たな完全給食導入が議論となっているのはご承知の通りです。

市が給食導入に踏み切らないのは、第1に財政面での負担。弁当継続を希望する声があることもその理由としています。

一方、完全給食を望む声は、共働きの家庭が増えるなかでの弁当作りの負担、保護者の経済格差に左右されない平等性、政令指定都市で横浜市だけが導入していない――

などです。

それぞれ一長一短があり、私も様々なご意見を頂いています。もう1つのポイントとしては、今年1月から全校で始まった「ハマ弁」の利用性を高めること。しかし現在利用者は1・1%の普及にとどまっています。

給食というのは材料費のみで利用できる制度。そこで「ハマ弁給食」という名に改め、1食あたりの費用を給食と同程度まで価格を下げ、申込みについても、もっと多様で簡単な方法に進化させ、20%の利用率を目指すと市長は考えています。

私は「ハマ弁」を改良しつつ、同時進行で給食導入の道も探っていくべきと考えます。

今後もしっかりと改革に取り組んで参ります。



えいた
やまうら 英太

《略歴》

◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グロービス経営大学院修了、(株)ニトリ◆横浜市認定保育園園長(保育士)◆衆議院議員秘書◆民進党戸塚支部幹事長◆2015年 横浜市会議員初当選。現在2期目を目指して奮闘中

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>